

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	プログラム言語基礎論		
英文授業科目名			
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-高度IT人材育成プログラム-選択科目		
開講学科・専攻	高度システム工学専攻 人材育成プログラム		
担当教官名	岩崎 英哉		
居室	西9-517		

公開E-Mail	授業関連Webページ
iwasaki@cs.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>プログラム言語は大きく、手続き型、関数型、オブジェクト指向などに分類され、それぞれについてさまざまな言語が設計され、利用されてきた。プログラム言語処理系は、計算機システムの基本部分を構成するソフトウェア(システムソフトウェア)の基礎となるものであり、その内部動作の仕組みを理解することは、計算機システムに対する理解を深める意味でも重要である。最近の言語処理系は複雑な構成のものが増えてきているとはいえ、実働する言語処理系のソースコードは、その言語で書かれたプログラムの動く仕組みに関する「生きた」教科書ということができる。</p> <p>本講義では、主として Unix 上で作動するプログラム言語処理系を選び、そのソースコードを眺めつつ、言語処理系ひいてはシステムソフトウェアの構成法等について学ぶ。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。ただし、C 言語、あるいは Java 等によるプログラミングに精通していることが望ましい。

【教科書等】
特になし。プリントを作成し配布する予定。

【授業内容とその進め方】
講義中はノート PC を利用し、必要に応じてプログラムの動作を確認しつつ、講義を進めていく。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末にレポートを課す。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜．事前に電子メール等で訪問日時を決めること．

【学生へのメッセージ】

【その他】
